適用範囲		モデル名		KE-1500Ⅲ
		仕様		5段ケリーバー仕様（6段含む）
		適用号機		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドリング ローアイドリング (冷却水温) (作動油温)	 min^{-1} min^{-1} (℃) (℃)	 2150±50 1030±50
		弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 (測定条件)	 mm mm (℃)	 0.20～0.30 0.40～0.50 (冷間時)
		圧縮圧力又は気筒 間圧縮圧力差 (冷却水温) (回転速度)	 MPa kgf/cm2 (℃) (rpm)	4気筒 圧縮比 17.2:1
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射 開始圧力	 MPa kgf/cm2	コモンレール
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張 [測定位置・条件] （中間を指で押す力） kgとNの両方で表記	mm N・m kgf	自動テンショナー付き
動力伝達装置	Vベルト(ポンプ駆動用、ウィンチ駆動用)	ベルトの張り [測定位置・条件] （中間を指で押す力） kgとNの両方で表記	mm N・m kgf	なし
走行装置	履帯	張り (たわみ量) [測定方法・条件(図面番号表示)]	mm	125～130mm [図番　B-01]
作業装置	ウィンチ減速機	チェーンの伸び	mm	チェーンの使用なし
	ブーム	取付けピンの摩耗量	mm	≦0.5
		固定ピンの摩耗量	mm	≦1.0
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 性能測定条件　・油温 (設定モード等)　・エンジン	MPa kgf/cm2 (℃)	P1　28.4～30.4MPa P2　28.4～30.4MPa P3　21.6～23.5MPa P4　8.8～11.8MPa
	シリンダー自然伸縮	ブームシリンダー(垂直ブーム式) 作業装置姿勢 デリックシリンダー(傾斜ブーム式) 作業装置姿勢 ブーム伸縮シリンダー 作業装置姿勢 押込み・引抜きシリンダー 作業装置姿勢 メイン締付シリンダー圧力低下 作業装置姿勢 サブ締付シリンダー圧力低下 作業装置姿勢 (測定時間) (作動油温)	mm/5h mm/5h mm/5h mm/5h Mpa/5h Mpa/5h (℃)	 ≦5 縮み量 ≦3 縮み量 ≦10 伸び量
	アキュームレーター	ガス封入圧		5.9MPa（ブレーキ、クラッチ用）
備考				

★印：新車基準値を表す。

会社名

項目	測定方法

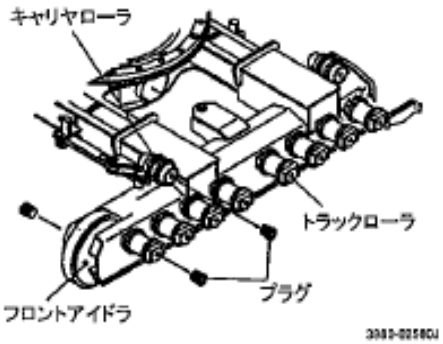
4-3 走行関係 (767E-0084-0J)

4-3-1 キャリヤローラ・トラックローラ・フロントアイドラへの給油 (T214792-022-0J)

各ローラ、フロントアイドラのプラグから油漏れが無いことを確認してください。油漏れがあったときは、弊社指定サービス工場にて給油してください。油が漏れた状態で作業を続けると走行装置を破損するおそれがあります。

(1) 点検・給油時期

点検時期 ……作業開始前点検時
給油時期 ……不具合時
給油量（1個当り）……キャリヤローラ　：0.1L
　　トラックローラ　：0.16L
　　フロントアイドラ　：0.15L
給　油 ……エンジンオイル

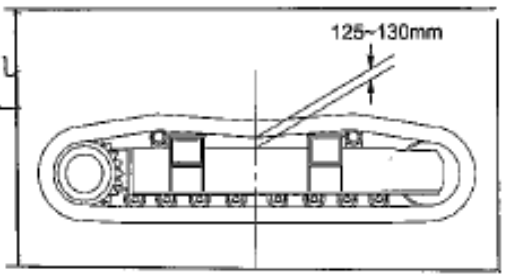


4-3-2 トラックシューの張り点検・調整 (6980-0094-0J)

トラックシューの調整は、フロントアイドラをアジャストシリンダで前後に移動させて行います。

(1) たるみ量の測定

トラックシューの張り調整は平坦なところで前進して停止した後、右図のようにトラックリンクの最下面とトラックフレームの上面の隙間が125 ～ 130mmが標準値です。



(図番 B-01)

(2) 調整手順

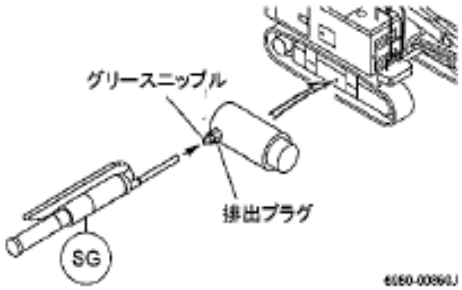
1) トラックシューを張る場合

下部走行体フロント側の外側にある調整窓のグリースニップルにより、アジャストシリンダへ高圧グリースポンプで給脂します。

2) トラックシューを緩める場合

調整窓のグリース排出プラグを左に回して緩めると、グリースが自動的に押出され、トラックシューは緩みます。調整後は排出プラグを締付けてください。

(締付トルク196N･m (20kgf･m))



⚠ 警　告

- プラグを緩めすぎると、内部の高圧グリースにより飛び出しの危険があります。プラグは1回転以上緩めないでください。
- 顔をプラグの取付方向に向けないでください。
- トラックシューが緩まなかったときは、弊社指定サービス工場に修理を依頼してください。

(B270-0195-2J)